

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1221】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02	議会広報活動事業			
予算区分	款	01	議会費	所属	議会事務局
	項	01	議会費		
	目	01	議会費		
	細目	003	本会議・委員会運営費		連絡先

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	市民	公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットにおいて定例会・委員会の生放映を行う。</li> <li>会議録検索システムによりホームページ上へ議会会議録を掲載する。</li> <li>議会独自のホームページにより、市民に議会情報を伝える。</li> <li>議会だよりを定例会ごとに発行する。</li> </ul>	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない  理由 議会の広報については、市で行うべきと考える。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	開かれた議会を目指し、より多くの市民に理解、関心を高めてもらう。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,510	142,544	143,088	143,088	
活動指標	本会議・委員会インターネット放映日数	日	18	33	42	38	
	ホームページの追加会議録数	件	7	4	6	4	
成果指標	本会議・委員会インターネット放映アクセス件数 (H26年6月～定例会生放映開始、12月～委員会生放映開始)	件	目標値 2,500 実績値 2,609	7,500 7,850	12,000 16,531	15,000	
	会議録アクセス件数 (H19年度から集計)	件	目標値 10,000 実績値 13,824	12,000 12,181	12,000 11,684	12,000	
投入コスト	事業費計			23,992	10,725	10,204	11,106
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
	一般財源			23,992	10,725	10,204	11,106
所要人員 (正職員)		人工	1.20	1.20	1.05		
所要人員 (嘱託再任用)		人工	0.00	0.00	0.00		
人件費合計		千円	8,368	8,495	7,179		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

インターネット放映に切り替え、視聴者の拡大を図っているが、スマートフォンやタブレットなどの一部の端末では見ることができないといった視聴環境の改善が必要であるとともに、平成28年度中にWindows Mediaサポートが終了となるため、視聴環境を整備するためのシステム変更が必要となる。また、県の構築する情報セキュリティクラウドへの対応による庁舎全体のインターネット環境との兼ね合いもあり、担当課と調整しながら問題の改善を図る必要がある。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1957】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目05 ふるさと応援寄附推進事業				
予算区分	款	02	総務費	所属	財政課
	項	01	総務管理費		
	目	07	企画費	連絡先	0594-24-1137
	細目	001	ブランド推進事業費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
個人寄附者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○一定金額以上の寄附者に対し、桑名市の特産品等を記念品として贈る。 ※特産品等は、提供が可能な事業者を市内事業者等から募集する。提供費用は、一定金額を市が負担する。 ※寄附金は、ふるさと応援基金に積立て、翌年度以降、寄附者の希望する事業等に充当する。	民間事業者から記念品を提供してもらっている。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
ふるさと納税に対する特典を充実させることで、桑名市への寄附に対する意欲の向上を図る。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	寄附件数	件数	11	5,241	17,874	13,500	
活動指標	記念品の数	個	1	50	122	125	
成果指標	寄附金額	千円	目標値 実績値	1,019	98,254	200,000 328,203	250,000
		千円	目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			0	0	166,170	190,654
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他				158,726	175,033
		一般財源				7,444	15,621
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.60	1.00		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円		4,247	6,837		

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

記念品の充実化を図り、寄附金額及び件数を増加させる。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【320】

会計名称	一般会計		
事務事業名	細々目01 桑名・員弁広域連合負担金		
予算区分	款	04	衛生費
	項	02	清掃費
	目	01	清掃総務費
	細目	003	桑名・員弁広域連合負担金
	所属	廃棄物対策課	
	連絡先	0594-24-1436	

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名・員弁広域連合	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○し尿・浄化槽汚泥の中間処理を行うため、必要な経費を負担する。 ・衛生費負担金、公債費 団体割割 10% 利用割 90%	桑員地域2市2町から構成される広域連合への負担金であり、コストの削減など十分に取り組みを行っている。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
し尿及び浄化槽汚泥の海洋投入廃止に伴い、陸上処理施設(桑名広域環境管理センター)で的確に処理される。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	構成自治体数 (桑名、いなべ、東員、木曾岬)	団体	4	4	4	4	
活動指標	建設費分担金	千円	258,331	257,769	257,769	257,769	
	管理費分担金	千円	260,007	274,762	231,878	252,231	
成果指標	一人あたり処理料	円	目標値 11,700 実績値 12,828	12,828 15,428	15,428 12,217	12,217	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計		518,337	532,531	489,647	510,000	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	518,337	532,531	489,647	510,000
	所要人員 (正職員)	人工	0.12	0.12	0.10		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.50			
人件費合計	千円	837	850	2,384			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

現時点で特になし。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【319】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 桑名広域清掃事業組合負担金				
予算区分	款	04	衛生費	所属	廃棄物対策課
	項	02	清掃費		
	目	01	清掃総務費	連絡先	0594-24-1436
	細目	002	桑名広域清掃事業組合負担金		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	桑名広域清掃事業組合		公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ごみの中間処理を行うため、必要な経費を負担する。 ・建設費負担金 (建設に関する費用) 平等割 10% 人口割 90% ・管理費負担金 (運営に関する費用) 平等割 5% 人口割15% 搬入割合 80%		公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	負担金を交付することにより組合の運営が円滑に行われ、ごみ処理事業が効率的に実施され市民が衛生的で快適な生活を行うことができる。		理由
			2市2町で構成する一部事務組合組織であり、コスト削減など十分な取り組みを行っている。

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	構成自治体数 (桑名、いなべ、東員、木曾岬)	団体	4	4	4	4	
活動指標	建設費負担金	千円	605,288	586,192	557,944	252,263	
	管理費負担金	千円	1,203,727	1,244,660	1,272,744	1,477,704	
成果指標	一人あたり処理料	円	目標値 12,002 実績値 12,694	12,694 12,822	12,822 12,788	12,085	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			1,809,015	1,830,852	1,830,688	1,729,967
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		1,809,015	1,830,852	1,830,688	1,729,967
	所要人員 (正職員)	人工	0.15	0.15	0.15		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	1,046	1,062	1,026			

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
成果は計画どおりにあがっているか。 ○ あがっている ● 横ばい ○ あがっていない H28年度の方向性 ○ 拡充 ○ 休止廃止 ● 現状維持 ○ 見直し ○ 縮小	平成32年度末で県のRDF事業が終了することから平成33年度以降の新ごみ処理施設整備に向け準備を進めていく必要がある。		

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2086】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 消防団車庫解体撤去事業				
予算区分	款	09	消防費	所属	消防本部総務課
	項	01	消防費		
	目	06	非常備消防費	連絡先	24-5274
	細目	006	公共施設等解体撤去事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	整備地区の面積 整備地区の人口	公民連携の前進 公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	平常時は住民への防火指導、応急手当等、地域に密着した活動を展開し、災害時は消火活動のみならず、地震や風水害等の大規模災害時の救助活動、避難誘導等、非常に重要な役割を担う消防団の活動拠点となる消防団車庫兼詰所を整備する。 ・平成27年度 桑名方面団旧第9分団車庫兼詰所解体工事	理由 民間関与は難しい
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	平常時及び消防団活動拠点の車庫兼詰所を整備し、消防団活動の円滑化を目指し、市民の生活の安全を確保するとともに、各自治会の防災意識の高揚に寄与する。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初		
対象指標	活動対象面積	Km <sup>2</sup>			5.16	5.16		
	活動対象人口	人			8,301	8,301		
活動指標	消防団車庫整備数	棟			0	0		
	消防団車庫解体整備数	棟			1	0		
成果指標	消防団車庫整備率	%	目標値 実績値		0 0	0 0		
	消防団車庫解体撤去進捗率	%	目標値 実績値		100 100	0 0		
投入コスト	事業費計			0	0	1,836	0	
	財源内訳	国支出金	千円					0
		県支出金						0
		地方債					1,700	0
		その他						0
		一般財源					136	0
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.01			
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00				
人件費合計	千円			68				

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

消防団施設には、耐久性の低い施設のほか、老朽化の進んでいる施設もあり、施設の機能維持は災害に対応するにも欠かせないものである。今後も立て替え等を視野に入れて施設の適正な維持管理を行う。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1991】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 多面的機能支払交付金事業				
予算区分	款	06	農林水産業費	所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費		
	目	04	農地総務費	連絡先	24-1205
	細目	014	多面的機能支払交付金事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
活動組織	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○活動組織に対し、農業用施設の維持管理や農村環境保全活動を行うための交付金を交付する。 ○交付金が適正に使用されるように、相談を受けたり現地確認を行うなど、活動組織に対し指導する。	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
(活動組織が) 活動目的に沿った適切な活動を行う。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	活動組織数	団体	-	26	26	28	
	活動指標	活動組織への指導・確認	団体	-	26	26	28
成果指標	活動組織の適切な運営状況	%	目標値	-	100	100	100
		実績値	-	100	100		
投入コスト	事業費計			0	15,671	63,751	66,100
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金			527	46,701	49,850
		地方債					0
		その他				1,779	0
		一般財源			15,144	15,271	16,250
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.41	0.41		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円		2,902	2,803			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

特になし